

水路濁幹線に導水するものにして斗六郡斗六街林内ミ同街烏塗子の大字界に於て林内第一取入口及び林内第二取入口附屬導水路合流點に接続して起り同郡刺桐庄芎藭脚に至りて中國子取入口附屬導水路を合し同庄大埔尾に至りて給水路濁幹線に連絡す。延長三千九百八十間にして敷幅六十尺兩側法一割乃至一割五分勾配七百八十分ノ一乃至百六十七分ノ一水深四尺乃至九尺最大流量四千五百立方秒尺を有す。猶ほ導水量の調節其の他に備ふるため起點下流二千九百九十間箇所に第一制水門及第一放水門終點に第二制水門及第二放水門を施設す。

附屬第一制水門及第一放水門 附屬第一制水門及第一放水門は林内第一第二及中國子の各取入口に依りて取入れたる水量を給水路濁幹線に灌漑用水として調節送水するに共に降雨時に際しては導水路上流附近二帯の雨水流下の調節に備ふるものにして導水路起點下流二千九百九十間の箇所に在り制水門は内法四尺深五尺一段十八連調水量一千五百立方秒尺放水門は内法四尺深七尺一段六連放水量五百立方秒尺を有し何れも鐵筋混凝土造捲揚式とし木製垂直門扉及「スピンドル」に依る捲揚機の設備を有す。

附屬第二制水門及第二放水門 附屬第二制水門及第二放水門は第一制水門及第一放水門に依りて調節送水せられたる水量を安全且確實に給水路濁幹線に調節送水するに共に降雨期に際しては導水路上流附近一帯の雨水流下の調節に備へ導水路及給水路濁幹線の安全を保持するものにして導水路終點に在り制水門は内法四尺深四尺一段十二連調水量一千五百立方秒尺放水門は内法四尺深六尺一段六連最大放水量一千五百立方秒尺を有し何れも鐵筋混凝土造捲揚式とし木製垂直門扉及「スピンドル」に依る捲揚機の設備を有す。尙ほ降雨期に於ける不時の

増水に備ふるため長五十二尺五寸の混凝土造餘水吐「ウエア」を施設す。

第三節 給排水設備

本圳全事業區域たる臺南州下縱貫鐵道以西の新豐、新化、會文、北門、新營、嘉義、斗六、虎尾、北港、東石の十郡五街四十庄四百四十八大字に跨る廣袤十五萬甲の土地に對し組合に於て直接施行せる給排水設備は給水路南北兩幹及濁幹線並當該各幹線系統に屬する給水路支分線、排水路、潮止堤防其の他に之に附屬する各種構造物工事にして給水路幹線は其の數三線總延長五萬一千七百八十餘間(約二十四里)給水路支線は其の數五十二線(新虎尾溪及在來埤圳を改修利用せる給水路別線十二線を含む)總延長二十三萬五千二百三十餘間(約百十里)給水路分線は其の數百四十六線總延長四十萬八千八百七十餘間(百八十九里餘)排水路は其の數百四十五線總延長四十一萬二千二百二十餘間(百九十里餘)潮止堤防は其の數十四線總延長五萬三千三百八十餘間(二十四里餘)とし分水門、給水門、排水門、放水門、餘水吐、水路橋、鐵道橋、車道橋、步道橋、落水工、暗渠、さいほん其の他附屬主要構造物三千九百餘箇所を算するが外に關係組合員に於て管理者の指揮を承け共同責任を以て施行せる中小給水路總延長三百九十三萬一千七百餘間(一千八百二十里餘)中小排水路總延長二百九十三萬六百餘間(千三百五十六里餘)なり。

左に本圳全事業區域に對する給排水設備を給水路南北兩幹線及濁幹線の各系統に分ちて其の概略を掲記するにあらむとす。

一、給水路北幹線及北幹線系統に屬する給排水路

A 給水路

北幹線

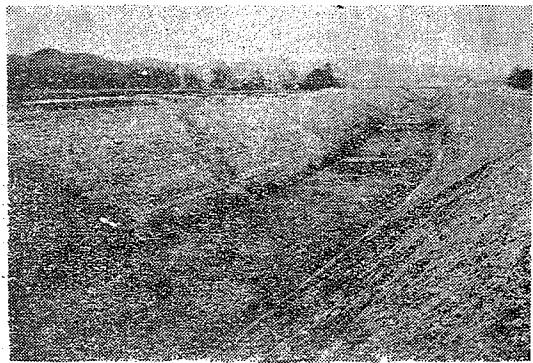
給水路北幹線は官田溪貯水池瀦水を官田溪貯水池以北、北港溪以南の區域約五萬六千甲の土地に灌漑用水として供給する圳路幹線にして會文郡官田庄烏山頭に於て官田溪貯水池導水路圳末右側分水門に接續して起り北して烏山頭支線を分岐し六甲庄七甲に至りて六甲支線を同庄六甲に至りて林鳳營支線を新營郡柳營庄果毅後に至りて果毅後支線を同庄山子脚に至りて查敵營支線を分岐し山子脚を番社庄吉貝要の庄界に至り龜重溪水橋に依りて龜重溪を渡り吉貝要に至りて吉貝要支線を分岐し同庄許秀才を白河庄下秀祐の庄界に至り急水溪水橋に依りて急水溪を渡り後壁庄烏樹林に至りて新營支線を分岐し同庄本協を經白河庄大排竹に至りて下茄荖支線を後壁庄土溝を經同庄上茄荖に至りて菁寮支線を白河庄連潭に至りて崩埤支線を分岐し新營及嘉義の兩郡界に至り八掌溪水橋に依りて八掌溪を渡り嘉義郡水上庄外溪洲、同庄十一指厝及大堀尾を經大崙に至りて八掌溪支線及朴子支線を分岐し迂回して再び大堀尾に入り水上庄下塗溝、東石郡太保庄埤麻脚、管事厝、白鶴厝、水虞厝を經同庄過溝に至りて過溝支線を分岐し東石及嘉義の兩郡界に至り朴子溪水橋に依りて朴子溪を渡り嘉義郡新巷庄月眉潭に至りて蒜頭支線を同庄中洋子に

至りて菜公厝支線を菜公厝を經後底潮に至りて後底支線を大潭に至りて新巷支線を西庄海豐子を經埤子頭に至りて東石、崙子兩支線を分岐し崙子を經嘉義及北港の兩郡界をなす北港溪に至り北港溪暗渠に依りて濁幹線に連絡す。

延長二萬六千三百四十餘間にして敷幅六尺五寸乃至二十七尺兩側法一割五分乃至二割勾配七分の一乃至二十四百分の一最大流量二千四十二立方秒尺(平水一千四百五十九立方秒尺)水深十二尺乃至十四尺を有し其の間給水路支線を分岐する分水門をはじめ給水門、餘水吐、落水工、暗渠、水路橋、鐵道橋、車道橋、步道橋其の他附屬構造物二百餘箇所を算す。

龜重溪水橋

龜重溪水橋は新營郡柳營庄山子脚を同郡番社庄吉貝要の庄界に於て龜重溪上に架設せるものにして橋體構造は「ワールン・トラス」型とし橋長六百八十一尺構桁心々幅十五呎四吋構桁高十九呎徑間長百三十二呎(橋脚心々距離百三十六尺二寸)五連、橋脚構造は立上りを鐵筋混凝土造り基礎を鐵筋混凝土造前後半圓形井筒とし立上り高平均二十六尺三寸四分井筒沈下平均五十一尺三寸三分長邊三十四尺一寸短邊十



給水路北幹線

二尺四寸六分、水路樞構造は鐵板製箱型とし高十一呎六吋幅十二呎勾配五百五十分の一流速毎秒約九尺最大水深十一尺六寸(平水九尺六寸)最大流量一千四百五十九立方秒尺(平水一千百五十五立方秒尺)を有す。

急水溪水橋

急水溪水橋は新營郡番社庄許秀才同郡白河庄下秀祐の庄界に於て急水溪上に架設せるものにして、橋體構造は鐵骨混凝土造箱型とし橋長三百九十六尺全幅十四尺四寸高十四尺六寸徑間長六十五尺八寸（橋脚心々距離六十六尺）六連、橋脚構造は立上りを鐵筋混凝土造基礎を鐵筋混凝土造前後半圓形井筒とし立上り高平均二十二尺一寸三分井筒沈下平均五十尺五寸五分長邊二十七尺短邊十一尺七基水路樋は高十二尺二寸幅十二尺四寸配五百五十分ノ一流速毎秒約十尺最大水深十二尺（平水九尺四寸）最大流量一千四百九十四立方秒尺（平水一千四百四十四立方秒尺）を有す。

八掌溪水橋

八掌溪水橋は新營郡白河庄蓮潭嘉義郡水上庄外溪洲の境界に於て八掌溪上に架設せるものにして、橋體構造は鐵筋混凝土造樞構とし橋長八百五十五尺全幅十五尺三寸高十三尺六寸徑間長六十四尺八寸（橋脚心々距離六十五尺）十三連、橋脚構造は立上りを鐵筋混凝土造基礎を鐵筋混凝土造前後半圓形井筒とし立上り高二十七尺井筒沈下平均五十尺斷面長邊十七尺五寸短邊十一尺五寸十四基（但し左岸橋臺一基は基礎井筒を有せず）水路樋は高十尺六寸幅十二尺四寸配五百分ノ一流速毎秒約九尺八寸五分最大水深十尺五寸（平水七尺四寸）最大流量一千三百五十一立方秒尺（平水八百七十二立方秒尺）を有す。

朴子溪水橋

朴子溪水橋は東石郡太保庄過溝嘉義郡新巷庄月眉潭の境界に於て朴子溪上に架設せるものにして、橋體構造は「ワレン・トラス」型とし橋長六百十六尺構桁心幅十尺九寸構桁高二十一尺徑間長百五十二尺（橋脚心々距離百五十四尺）四連、橋脚構造は立上りを鐵筋混凝土造基礎を鐵筋混凝土造前後半圓形井筒とし

立上り高平均十八尺四寸九分井筒沈下平均四十九尺二寸九分斷面長邊二十四尺短邊十尺五基、水路樋構造は鐵板製箱型とし高六尺六寸幅八尺四寸配四百五十分ノ一流速毎秒約八尺最大水深八尺八寸（平水七尺九寸九分）最大流量四百五十四立方秒尺（平水二百八十四立方秒尺）を有す。

烏山頭支線

烏山頭支線は曾文郡官田庄烏山頭に於て北幹線より分岐し同庄角秀に至りて三結義分線及附屬放水路を分岐し二鎮を経て南廊に至る。延長三千三百七十餘間にして敷幅一尺五寸乃至三尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至四百分ノ一を有す。烏山頭支線及び之に分岐する三結義分線總延長は五千八百五十餘間にして其の間分水門、給水門、落水工、暗渠、鐵道さいほん、輕鐵さいほん、步道橋其の他附屬構造物四十二箇所を算す。

附屬放水路 附屬放水路は曾文郡官田庄角秀に於て烏山頭支線に分岐し在來埤に入る。延長五百四十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配八百分ノ一を有す。

三結義分線

三結義分線は曾文郡官田庄角秀に於て烏山頭支線より分岐し同庄二鎮を経て三結義に至る。延長二千四百八十餘間にして敷幅一尺五寸乃至二尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至五百分ノ一を有す。

岩埤別線

岩埤別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埤圳六麻圳の内岩埤を改修せるものにして曾文郡六甲庄七甲に起り七甲に終る。延長百四十餘間にして敷幅一尺五寸兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

六 甲 支 線

六甲支線は會文郡六甲庄七甲に於て北幹線より分岐し同庄二甲を經て菁埔に至る。延長三千八百八十餘間にして敷幅二尺五寸乃至三尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一乃至四百分ノ一を有し其の間給水門、落水工、暗渠、さいはん其の他附屬構造物二十七箇所を算す。

統 領 別 線

統領別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埤圳麻豆圳の内統領埤を改修せるものにして會文郡六甲庄龜子港に於て在來埤に内法三尺深二尺五寸一門最大取入水量七立方秒尺の鐵筋混凝土造捲揚式取入水門を設けて所要水量を取入る、ものゝす。而して本別線は會文郡六甲庄龜子港に於て該取入水門に接續して起り龜子港に終る。延長三百六十餘間にして敷幅二尺兩側法一割勾配八百分ノ一を有す。

路 橋 別 線

路橋別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埤圳路橋埤を改修せるものにして會文郡六甲庄菁埔なる在來埤に内法二尺五寸深二尺五寸一門最大取入水量八立方秒尺の鐵筋混凝土造捲揚式取入水門を設けて所要水量を取入る、ものゝす。而して本別線は會文郡六甲庄菁埔に於て該取入水門に接續して起り菁埔に終る。延長九百八十餘間にして敷幅一尺乃至二尺五寸兩側法一割勾配一千二百分ノ一乃至百三十五分ノ一を有す。

瓦 礫 別 線

瓦礫別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埤圳六甲圳の内瓦礫埤を改修せるものにして會文郡官田庄二鎮の在來埤に内徑一尺の混凝土管を敷設して所要水量を取入る、ものゝす。而して本別線は會文郡官田庄二鎮に於て該取入口に接續して起り二鎮に終る。延長六百八十餘間にして敷幅一尺乃至二尺兩側法一割勾配六百分ノ一乃至二百分ノ一を有す。

烏 山 頭 別 線

烏山頭別線は會文郡官田庄烏山頭に於て官田溪貯水池附屬導水路起點に起り東流して官田庄中脇に至る延長二百九十餘間にして敷幅一尺五寸兩側法一割五分勾配六百分ノ一を有し附屬構造物として給水門二箇所を算す。

橋 頭 子 別 線

橋頭子別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埤圳麻豆圳の内橋頭子港埤を改修せるものにして會文郡下營庄茅港尾なる橋頭子港埤に内法五尺深四尺一門最大取入水量三十八立方秒尺の鐵筋混凝土造捲揚式取入水門を設けて所要水量を取入る、ものゝす。而して本別線は會文郡下營庄茅港尾に於て該取入水門に接續して起り同庄下營を經て麻豆街北勢寮に至る。延長三千九百四十餘間にして敷幅三尺五寸兩側法一割五分勾配五千分ノ一を有し其の間給水門、放水門、さいはん其の他附屬構造物九箇所を算す。

林 鳳 營 支 線

林鳳營支線は會文郡六甲庄六甲に於て北幹線より分岐し同庄水漆林、中社、港子頭を經龜子港に至りて附屬放水

路を分岐し林鳳營、奎頭港兩分線に分岐す。延長三千七百七十餘間にして敷幅五尺五寸乃至六尺五寸兩側法一割五分勾配二千四百分の一乃至一千二百分の一を有す。林鳳營支線及び之に分岐する各分線總延長は一萬九千六百餘間にして其の間分水門、給水門、暗渠、落水工、歩道橋、さいぼん其の他附屬構造物百十八箇所を算す。

附屬放水路 附屬放水路は曾文郡六甲庄龜子港に於て林鳳營支線に分岐し在來埠に入る。延長六十餘間にして敷幅五尺兩側法一割五分勾配六百分の一を有す。

林鳳營分線 林鳳營分線は曾文郡六甲庄龜子港に於て林鳳營支線より分岐し同庄港子頭を経て林鳳營に至る。延長一千四百四十餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配一千二百分の一乃至百分の一を有す。

奎頭港分線 奎頭港分線は曾文郡六甲庄龜子港に於て林鳳營支線より分岐し下營庄麻豆寮に至りて十六甲分線及附屬放水路を分岐し同庄十六甲を経鹽水街奎頭港に至りて下營分線を分岐し奎頭港に終る。延長五千五百二十餘間にして敷幅二尺五寸乃至七尺兩側法一割五分勾配三千分の一乃至八百分の一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は曾文郡下營庄麻豆寮に於て奎頭港分線に分岐し排水路龜子港線に入る。延長百八十餘間にして敷幅六尺兩側法一割五分勾配六百分の一を有す。

十六甲分線 十六甲分線は曾文郡下營庄麻豆寮に於て奎頭港分線より分岐し同庄下營に至る。延長二千三百九十餘間にして敷幅一尺五寸乃至二尺兩側法一割五分勾配二千五百分の一乃至四百分の一を有す。

下營分線 下營分線は新營郡鹽水街奎頭港に於て奎頭港分線より分岐し曾文郡下營庄大屯寮に至りて西寮分

線及附屬放水路を分岐し大屯寮に終る。延長三千七百餘間にして敷幅二尺五寸乃至六尺五寸兩側法一割五分勾配三千分の一乃至二千五百分の一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は曾文郡下營庄大屯寮に於て下營分線に分岐し在來排水路に入る。延長五十餘間にして敷幅五尺兩側法一割五分勾配六百分の一を有す。

西寮分線 西寮分線は曾文郡下營庄大屯寮に於て下營分線より分岐し北門郡學甲庄宅子港を経て同庄學甲に至る。延長三千六百六十餘間にして、敷幅二尺乃至三尺兩側法一割五分勾配四千分の一乃至二千四百分の一を有す。

宅子港別線

宅子港別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埠宅子港埠を改修せるものにして第一第二の兩別線あり何れも曾文郡下營庄大屯寮に於て在來埠に内法一尺五寸深二尺一門最大取入水量四立方秒尺の鐵筋混凝土造捲揚式取入水門を設けて所要水量を取入る、ものとす。而して第一第二兩別線總延長は七百四十餘間にして其の間附屬構造物として輕鐵さいぼん二箇所を有する已。

第一宅子港別線 第一宅子港別線は曾文郡下營庄大屯寮に於て上記の取入水門に接續して起り大屯寮に終る。延長四百二十餘間にして敷幅一尺五寸乃至二尺兩側法一割五分勾配三千分の一を有す。

第二宅子港別線 第二宅子港別線亦曾文郡下營庄大屯寮に於て上記の取入水門に接續して起り第一宅子港

別線に併行す。延長三百二十餘間にして敷幅二尺兩側法一割勾配三千分ノ一を有す。

烏樹林別線

烏樹林別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埤圳烏樹林埤を改修せるものにして會文郡官田庄南廓に起り南廓に終る。延長百八十餘間にして敷幅一尺五寸兩側法一割五分勾配六百分ノ一を有し其の間附屬暗渠一箇所を設く。尙ほ本別線には取入水門無く官田庄南廓の烏樹林埤に給水ポンプを設置して灌漑用水を引用す。

果毅後支線

果毅後支線は新營郡柳營庄果毅後に於て北幹線より分岐し同庄新厝に至る。延長二千四十餘間にして敷幅二尺乃至三尺兩側法一割五分勾配一千二分ノ一乃至六百分ノ一を有し其の間給水門、暗渠、落水工、さいはん其の他附屬構造物十五箇所を算す。

查畝營支線

查畝營支線は新營郡柳營庄山子脚に於て北幹線より分岐し同庄大脚腿を経五軍營に至りて八老爺分線を分岐し太康に至りて查畝營、太康兩分線に分岐す。延長三千六百六十餘間にして敷幅三尺五寸乃至四尺五寸兩側法一割五分勾配一千分ノ一乃至六百分ノ一を有す。查畝營支線及び之に分岐する各分線總延長は九千九百五十餘間にして其の間分水門、給水門、落水工、暗渠、鐵道さいはん、輕鐵さいはん其の他附屬構造物六十五箇所を算す。

八老爺分線 八老爺分線は新營郡柳營庄五軍營に於て查畝營支線より分岐し同庄路東、柳營を経て八老爺に

至り附屬放水路となりて在來の排水路に入る。延長二千七百五十餘間にして敷幅二尺乃至五尺五寸兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至一千五百分ノ一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は新營郡柳營庄八老爺に於て八老爺分線末に接続して起り在來の排水路に入る。延長二百二十餘間にして敷幅一尺五寸兩側法一割五分勾配四百分ノ一を有す。

查畝營分線 查畝營分線は新營郡柳營庄太康に於て查畝營支線末より分岐し同庄柳營に至る。延長一千四百四十餘間にして敷幅一尺五寸乃至二尺五寸兩側法一割五分勾配四百分ノ一を有す。

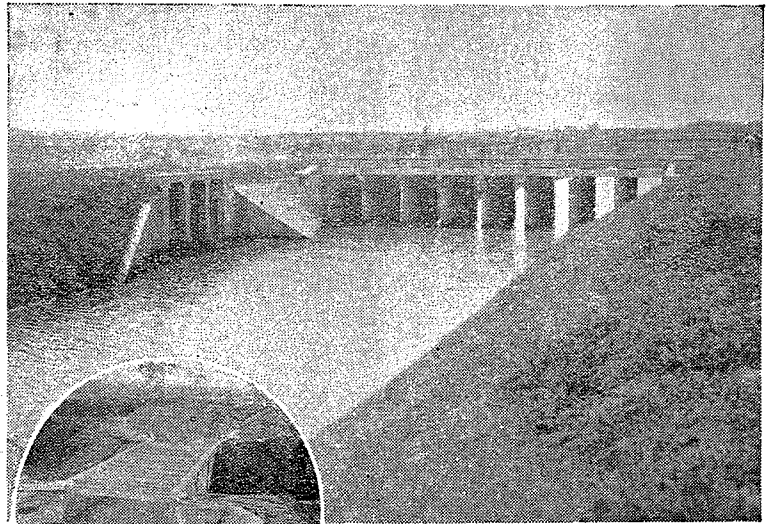
太康分線 太康分線は新營郡柳營庄太康に於て查畝營支線末より分岐し同庄八老爺に至りて急水溪に入る。延長二千三百九十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配二千五百分ノ一を有す。

大脚腿支線

大脚腿支線は新營郡柳營庄大脚腿に於て北幹線より分岐し同庄小脚腿に至る。延長一千二百餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配六百分ノ一を有し其の間給水門、暗渠、落水工其の他附屬構造物十一箇所を算す。

吉貝要支線

吉貝要支線は新營郡番社庄吉貝要に於て北幹線より分岐し同庄田尾を経て頂窩に至り附屬放水路となりて龜重溪に入る。延長二千百九十餘間にして敷幅一尺五寸乃至二尺兩側法一割五分勾配八百分ノ一乃至六百分ノ一を有し其の間給水門、落水工、暗渠、水路橋、步道橋其の他附屬構造物二十七箇所を算す。



北幹線附屬車道橋と
新營支線分水門

附屬放水路 附屬放水路は新營郡番社庄頂橋に於て吉貝要支線引末に接続して起り稍々西して龜重溪に入る。延長三百十餘間にして敷幅二尺乃至三尺兩側法一割五分勾配四百分の一乃至百分の一を有す。

新營支線

新營支線は新營郡後壁庄烏樹林に於て北幹線より分岐し同庄安溪寮、新營庄土庫を經卯舎に至りて新營第一分線及附屬第一放水路を分岐し王公廟、新營を經太子宮に至りて太子宮分線及鐵線橋第一分線に分岐す。延長七千五百二十餘間にして敷幅五尺乃至十二尺兩側法一割五分勾配二千分の一乃至一千分の一を有す。新營支線及び之に分岐する各分線延長は二萬九千七百餘間にして分水門、給水門、落水工、暗渠、さいはん、水路橋、車道橋、歩道橋其の他附屬構造物二百六十四箇所を算す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は新營郡新營庄

新營支線附屬第一號水橋
(橋長七十五尺幅十一尺深五尺)

卯舎に於て新營支線に分岐し排水路後鎮線に入る。延長三百二十餘間にして敷幅七尺兩側法一割五分勾配一千分の一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は新營郡新營庄太子宮に於て新營支線に分岐し同庄茄冬脚に至りて排水路新營線に入る。延長六百五十餘間にして敷幅四尺兩側法一割五分勾配九百分の一を有す。

新營第一分線 新營第一分線は新營郡新營庄卯舎に於て新營支線より分岐し同庄埤寮を經許丑に至りて新營第二分線を分岐し後鎮に至りて鹽水、岸内兩分線に分岐す。延長二千九十餘間にして敷幅三尺乃至五尺兩側法一割五分勾配二千分の一乃至一千分の一を有す。

新營第二分線 新營第二分線は新營庄許丑に於て新營第一分線より分岐し鹽水街鹽水を経て舊營に至り附屬放水路ミなりて排水路鹽水線に入る。延長三千百八十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配二千分の一乃至一千五百分の一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は新營郡鹽水街舊營に於て新營第二分線引末に接続して起り排水路鹽水線に入る。延長三百二十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配六百分の一を有す。

鹽水分線 鹽水分線は新營郡新營庄後鎮に於て新營第一分線引末より分岐し鹽水街北竹子脚に至る。延長五百十餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配一千二百分の一を有す。

岸内分線 岸内分線は新營郡新營庄後鎮に於て新營第一分線引末より分岐し鹽水街北竹子脚、同街岸内を經下中に至りて附屬第一放水路を分岐し孫厝寮に至りて附屬第二放水路を分岐し北門郡學甲庄溪洲子寮に至る。延

長七千七百九十餘間にして敷幅二尺乃至五尺兩側法一割五分勾配四十分ノ一乃至一千二百分ノ一を有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は新營郡鹽水街下中に於て岸内分線に分岐し排水路岸内線に入る。延長六千四百二十餘間にして敷幅三尺乃至五尺兩側法一割五分勾配二千四百分ノ一乃至五百分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は新營郡鹽水街孫厓寮に於て岸内分線に分岐し排水路岸内線に入る。延長二千九百餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配八百分ノ一乃至四百分ノ一を有す。

太子宮分線 太子宮分線は新營郡新營庄太子宮に於て新營支線末より分岐し同庄新營及茄荖脚を迂回して再び太子宮に入り鹽水街舊營に出で同街番子厓に至りて附屬第一放水路を分岐し田寮を経て飯店に至り附屬第二放水路となりて排水路田寮線に入る延長五千四十餘間にして敷幅三尺乃至五尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至一千二百分ノ一を有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は新營郡鹽水街番子厓に於て太子宮分線に分岐し排水路田寮線に入る。延長百八十餘間にして敷幅四尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は新營郡鹽水街飯店に於て太子宮分線末に接續して起り同庄天保厓に至りて排水路田寮線に入る。延長百二十餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配六百分ノ一を有す。

鐵線橋第一分線 鐵線橋第一分線は新營郡新營庄太子宮に於て新營支線末より分岐し同庄舊廊を経て下角帶圍に至り鐵線橋第二分線を分岐し圳末は附屬放水路となる。延長二千五百四十餘間にして敷幅二尺乃至三尺兩側法一割五分勾配四十分ノ一乃至二千分ノ一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は新營郡新營庄下角帶圍に於て鐵線橋第一分線末に接續して起り南して排水路竹子脚線に入る。延長七百八十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配八百分ノ一を有す。

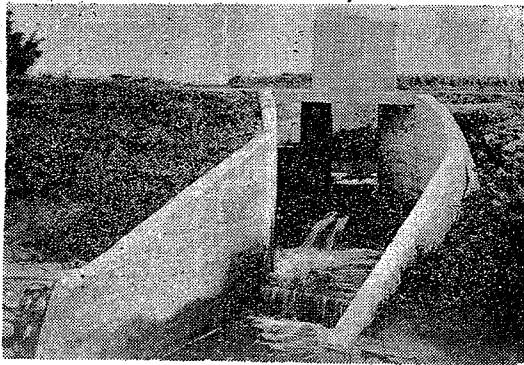
鐵線橋第二分線

鐵線橋第二分線は新營郡新營庄下角帶圍に於て鐵線橋第一分線に分岐し下角帶圍に終る。延長一千十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

下茄荖支線

下茄荖支線は新營郡白河庄大排竹に於て北幹線より分岐し後壁庄下茄荖に至りて附屬放水路を分岐し同庄新營東を経て竹圍後に至る。延長四千四百三十餘間にして敷幅二尺五寸乃至三尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至六百分ノ一を有し其の間給水門、落水工、暗渠、水路橋、步道橋其の他附屬構造物四十二箇所を算す。

附屬放水路 附屬放水路は新營郡後壁庄下茄荖に於て下茄荖支線に分岐し來排水路に入る。延長百八十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配八百



下茄荖支線縱貫道路暗渠と附屬放水門

分ノ一を有す。

菁寮支線は新營郡後壁庄上茄冬に於て北幹線より分岐し同庄菁寮に至りて長短樹、坎頂兩分線及附屬第一放水路を分岐し白沙屯に至りて附屬第二放水路となりて八掌溪に入る。延長四千四百四十餘間にして敷幅二尺乃至三尺五寸兩側法一割五分勾配二千分の一乃至八分の一を有す。菁寮支線及び之に分岐する長短樹、坎頂兩分線總延長は七千三百十餘間にして其の間分水門、給水門、落水工、暗渠、さいぼん、水路橋、車道橋、歩道橋其の他附屬構造物六十六箇所を算す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は新營郡後壁庄菁寮に於て菁寮支線に分岐し排水路菁寮線に入る。延長五百四十餘間にして敷幅三尺五寸兩側法一割五分勾配六百分の一最大放水量六十立方秒尺を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は新營郡後壁庄白沙屯に於て菁寮支線末に接續して起り西して八掌溪に入る。延長七十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配六百分の一を有す。

長短樹分線 長短樹分線は新營郡後壁庄菁寮に於て菁寮支線より分岐し同庄長短樹に至り附屬放水路となりて排水路長短樹線に入る。延長二千六百六十餘間にして敷幅二尺乃至二尺五寸兩側法一割五分勾配二千分の一乃至一千二百分の一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は新營郡後壁庄長短樹に於て長短樹分線末に接續して起り排水路長短樹線に入る。延長二百餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配四百分の一を有す。

坎頂分線 坎頂分線は新營郡後壁庄菁寮に於て菁寮支線より分岐し菁寮に終る。延長七百餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配四百分の一を有す。

崩 埤 支 線

崩埤支線は新營郡白河庄蓮潭に於て北幹線より分岐し後壁庄上茄冬を経て崩埤に至る。延長一千九百餘間にして敷幅一尺五寸乃至二尺五寸兩側法一割乃至一割五分勾配三千分の一乃至五百分の一を有し其の間給水門、落水工、暗渠、歩道橋其の他附屬構造物二十三箇所を算す。

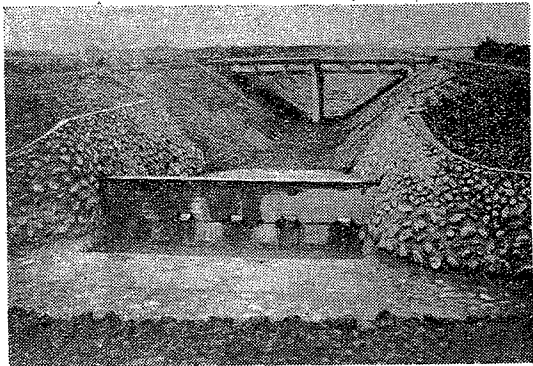
八 掌 溪 支 線

八掌溪支線は嘉義郡水上庄大崙に於て北幹線より分岐し南靖、梅子厝兩分線及附屬第一放水路を分岐し鹿草庄埔心を經同庄下半年に至りて坎頂分線及附屬第二放水路を山子脚を經中寮に至りて第三放水路を施厝寮に至りて龜子港分線及附屬第四放水路を頂潭を經下潭に至りて栗子崙分線及第五放水路を義竹庄五間厝に至りて崩山分線を角帶園に至りて後鎮分線を義竹に至りて新店分線及附屬第六放水路を過路子に至りて附屬第七放水路を分岐し芋子寮に至り附屬第八放水路となりて八掌溪支流に入る。延長一萬六千二百六十餘間にして敷幅二尺乃至十八尺兩側法一割乃至一割五分勾配三千六百分の一乃至一千五百分の一を有す。八掌溪支線及び之に分岐する各分線總延長は七萬三百七十餘間にして分水門、給水門、落水工、暗渠、さいぼん、水路橋、車道橋、歩道橋其の他附屬構造物三百七十七箇所を算す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は嘉義郡水上庄大崙に於て八掌溪支線に分岐し同庄十一指厝に至りて排水路南靖線に入る。延長五百四十餘間にして敷幅四尺兩側法一割五分勾配二千四百分の一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡鹿草庄下半年に於て八掌溪支線に分岐し在來排水路に入る。延長三百九十餘間にして敷幅八尺乃至二十尺兩側法一割五分勾配一千五百分の一を有す。

附屬第三放水路 附屬第三放水路は東石郡鹿草庄中寮に於て八掌溪支線に分岐し排水路鹿草線に入る。延長四百三十餘間に於て敷幅三尺兩側法一割五分勾配一千分の一を有す。



工水落屬附放水第二

附屬第四放水路 附屬第四放水路は東石郡鹿草庄施厝寮に於て八掌溪支線に分岐し排水路鹿草線に入る。延長四百二十餘間に於て敷幅六尺兩側法一割五分勾配一千二分の一を有す。

附屬第五放水路 附屬第五放水路は東石郡義竹庄下潭に於て八掌溪支線に分岐し南して八掌溪に入る。延長三百三十餘間に於て敷幅十三尺乃至十八尺兩側法一割五分勾配一千百分の一を有す。

附屬第六放水路 附屬第六放水路は東石郡義竹庄義竹に於て八掌溪支線に分岐し埤子頭に至りて排水路新店線に入る。延長五百餘間に於て敷幅七尺兩側法一割五分勾配一千二分の一を有す。

附屬第七放水路 附屬第七放水路は東石郡義竹庄過路子に於て八掌溪支線に分岐し排水路過路子線に入る。延長一千六百二十餘間に於て敷幅三尺兩側法一割五分勾配一千五百分の一を有す。

に接續して起り西して八掌溪支流に入る。延長七百四十餘間に於て敷幅二尺兩側法一割五分勾配一千分の一を有す。

南靖分線 南靖分線は嘉義郡水上庄大寮に於て八掌溪支線より分岐し東石郡鹿草庄麻豆店に至りて附屬放水

路を分岐し同庄後堀を経て三角子に至る。延長四千三百十餘間に於て敷幅二尺乃至四尺兩側法一割五分勾配三千六百分の一乃至二千分の一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は東石郡鹿草庄麻豆店に於て南靖分線に分岐し排水路南靖線に入る。延長五百四十餘間に於て敷幅四尺兩側法一割五分勾配四百分の一を有す。

梅子厝分線 梅子厝分線は嘉義郡水上庄大寮に於て八掌溪支線より分岐し東石郡鹿草庄埔心を経て梅子厝に至り梅子厝第一分線を分岐して梅子厝に終る。延長二千八百八十餘間に於て敷幅二尺乃至二尺五寸兩側法一割乃至一割五分勾配一千二分の一乃至八百分の一を有す。

梅子厝第一分線 梅子厝第一分線は東石郡鹿草庄梅子厝に於て梅子厝分線より分岐し梅子厝に終る。延長七百三十餘間に於て敷幅一尺五寸乃至二尺兩側法一割勾配八百分の一乃至六百分の一を有す。

崁前分線 崁前分線は東石郡鹿草庄下半年に於て八掌溪支線より分岐し同庄鹿草に至りて附屬第一放水路を朴子街新庄に至りて崁前第一分線及附屬第二放水路を分岐し鴨母寮及崁前を経て崁後に至り附屬第三放水路をなりて排水路荷苞嶼線に入る。延長八千八十餘間に於て敷幅二尺乃至七尺兩側法一割五分勾配三千分の一乃至一千二分の一を有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は東石郡鹿草庄鹿草に於て崁前分線に分岐し小排水路に入る。延長百十餘間に於て敷幅二尺兩側法一割五分勾配六百分の一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡朴子街新庄に於て崁前分線に分岐し小排水路に入る。延長百二十餘間に於て敷幅

三尺五寸兩側法一割五分勾配一千二百分の一を有す。

附屬第三放水路 附屬第三放水路は東石郡朴子街坎後に於て坎前分線別末に接続して起り西して排水路荷包嶼線に入る。延長三百四十餘間に於て敷幅二尺乃至十一尺兩側法一割五分勾配三千分の一乃至一千分の一を有す。

坎前第一分線 坎前第一分線は東石郡朴子街新庄に於て坎前分線より分岐し鹿草庄馬欄後に至る。延長八百二十餘間に於て敷幅二尺兩側法一割五分勾配七百五十分の一を有す。

龜子港分線 龜子港分線は東石郡鹿草庄施厝寮に於て八掌溪支線より分岐し同庄頂潭、竹子脚、龜佛山、義竹庄牛挑灣、南勢竹、朴子街鴨母寮を経て龜子港に至る。延長五千三百三十餘間に於て敷幅二尺乃至五尺兩側法一割五分勾配三千六百分の一乃至一千五百分の一を有す。

樹林頭別線 樹林頭別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埤圳樹林頭圳を改修せるものにして東石郡鹿草庄下潭に於て八掌溪右岸に施設せる内法四尺深二尺一段二連の鐵筋混凝土造捲揚式取水水門に依りて所要水量を取入る、ものさし若し該取水水門に於て取入意の如くならざる場合は八掌溪支線より機に應じて分水するものとす。而して本別線は該取水水門に接続して鹿草庄下潭に起り附屬第一第二兩放水路を分岐し義竹庄溪洲に至りて樹林頭第一分線を布袋庄溪墘に至りて樹林頭第二分線を分岐し樹林頭に至る。延長六千餘間に於て敷幅五尺乃至十八尺兩側法一割五分勾配四千分の一乃至二千分の一を有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は東石郡鹿草庄下潭に於て樹林頭別線に分岐し南して八掌溪に入る。延長八百七十餘間に

して敷幅十二尺兩側法一割五分勾配四千分の一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路も亦東石郡鹿草庄下潭に於て樹林頭別線に分岐し南して八掌溪に入る。延長二百六十餘間に於て敷幅四尺兩側法一割五分勾配一千分の一を有す。

樹林頭第一分線 樹林頭第一分線は東石郡義竹庄溪洲に於て樹林頭別線より分岐し溪洲に終る。延長五百三十餘間に於て敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千分の一を有す。

樹林頭第二分線 樹林頭第二分線は東石郡布袋庄溪墘に於て樹林頭別線より分岐し同庄樹林頭を経て考試潭に至る。延長一千三百四十餘間に於て敷幅二尺兩側法一割五分勾配二千分の一を有す。

粟子崙分線 粟子崙分線は東石郡鹿草庄下潭に於て八掌溪支線より分岐し義竹庄溪洲に至りて附屬第一放水路を布袋庄溪墘に至りて布袋分線及附屬第二放水路を同庄樹林頭を経て東石庄走賊宅に至りて過港、掌潭兩分線及附屬第三放水路を粟子崙を経て中洲に至り附屬第四放水路となりて在來排水路に入る。延長七千二百八十餘間に於て敷幅二尺乃至五尺兩側法一割五分勾配三千分の一乃至一千五百分の一を有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は東石郡義竹庄溪洲に於て粟子崙分線に分岐し排水路溪墘線に入る。延長二千八百八十餘間に於て敷幅四尺兩側法一割五分勾配一千五百分の一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡布袋庄溪墘に於て粟子崙分線に分岐し同庄菜舖廊に至りて排水路溪墘線に入る。延長四千四百四十餘間に於て敷幅一尺五寸兩側法一割五分勾配一千分の一を有す。

附屬第三放水路 附屬第三放水路は東石郡布袋庄走賊宅に於て粟子崙分線に分岐し同庄過溝に至りて排水路過溝線に入る。

延長五千八百六十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一を有す。

附屬第四放水路 附屬第四放水路は東石郡東石庄中洲に於て栗子崙分線末に接續して起り在來排水路に入る。延長百八十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分を有す。

布袋分線 布袋分線は東石郡布袋庄溪墘に於て栗子崙分線より分岐し同庄考試潭を経て後壁寮に至る。延長

一千六百八十餘間にして敷幅二尺乃至四尺五寸兩側法一割五分勾配二千五百分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

過溝分線 過溝分線は東石郡布袋庄走賊宅に於て栗子崙分線より分岐し走賊宅に終る。延長三百七十餘間に
して敷幅二尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

掌潭分線 掌潭分線は東石郡布袋庄走賊宅に於て栗子崙分線より分岐し栗子崙に至る。延長一千二百三十餘
間にして敷幅二尺内側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は東石郡布袋庄栗子崙に於て掌潭分線末に接續して起り西して排水路栗子崙線に入る延長四百三十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配二千四百分ノ一を有す。

崩山分線 崩山分線は東石郡義竹庄五間厝に於て八掌溪支線より分岐し同庄東後寮に至りて附屬第一放水路
を分岐し布袋庄菜舖廓を経て同庄崩山に至り附屬第二放水路となりて排水路前東港線に入る。延長五千三百三十餘間にして敷幅二尺乃至三尺五寸兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至一千二百分ノ一を有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は東石郡義竹庄東後寮に於て崩山分線に分岐し南して排水路新庄線に入る。延長十九間に
して敷幅三尺兩側法一割五分勾配八百分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡布袋庄崩山に於て崩山分線末に接續して起り西して排水路前東港線に入る。延
長二十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配百分ノ一を有す。

後鎮分線 後鎮分線は東石郡義竹庄角帶圍に於て八掌溪支線より分岐して起り埤子頭分線を分岐して同庄新
庄に至りて龍蛟潭分線及附屬第一放水路を分岐し安溪寮を経て北港子に至り附屬第二放水路となりて排水路溪墘
線に入る。延長三千六百餘間にして敷幅二尺乃至五尺兩側法一割五分勾配二千四百分ノ一乃至一千五百分ノ一を
有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は東石郡義竹庄新庄に於て後鎮分線に分岐し在來排水路に入る。延長八十餘間にして敷幅
三尺兩側法一割五分勾配一千分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡義竹庄北港子に於て後鎮分線末に接續して起り西して排水路溪墘線に入る。延
長五百八十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

埤子頭分線 埤子頭分線は東石郡義竹庄角帶圍に於て後鎮分線より分岐して埤子頭に至り附屬放水路となり
て排水路新店線に入る。延長一千二百七十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至一千分ノ一を
有す。

附屬放水路 附屬放水路は東石郡義竹庄埤子頭に於て埤子頭分線末に接續して起り排水路新店線に入る。延長四十餘間に
して敷幅二尺兩側法一割五分勾配一千分ノ一を有す。

龍蛟潭分線 龍蛟潭分線は東石郡義竹庄新庄に於て後鎮分線より分岐して龍蛟潭に至る。延長八百二十餘間
にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

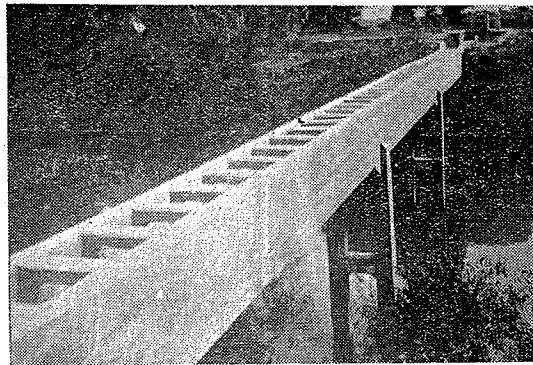
新店分線 新店分線は東石郡義竹庄義竹に於て八掌溪支線に分岐し同庄頭竹園を経て新店に至る。延長二千四百六十餘間にして敷幅四尺乃至五尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至二千分ノ一を有す。

泉利別線

泉利別線は本組合事業區域に編入せられたる在來埤圳泉利圳を改修利用せるものにして東石郡義竹庄頭竹園に於て八掌溪右岸に施設せる内法三尺深三尺の鐵筋混凝土造捲揚式取水水門に依りて所要水量を取入る、ものさす。而して本別線は東石郡義竹庄頭竹園に於て該取水水門に接續して起り同庄新店に終る。延長一千八百餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

朴子支線

朴子支線は嘉義郡水上庄大崙に於て北幹線より分岐し東石郡太保庄後潭に至りて新埤分線及附屬第一放水路を太保に至りて太保分線を崙子頂に至りて崙子頂分線及附屬第二放水路を朴子街小糠榔に至りて朴子分線及附屬第三放水路を同街朴子及蘆菜埔を經東石庄園子内に至りて雙連潭分線を分岐し放水路となりて小排水路に入る。延長一萬四千三百四十餘間にして敷幅二尺乃至九尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至一千分ノ一を有す。朴



橋水屬附線支子朴
(長七十八尺幅一尺五寸深二尺)

子支線及び之に分岐する各分線總延長は二萬五千九百九十餘間にして分水門、給水門、落水工、暗渠、さいほん、水路橋、車道橋、歩道橋其の他附屬構造物百二十六箇所を算す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は東石郡太保庄後潭に於て朴子支線に分岐し南して排水路春珠線に入る。延長九百四十餘間にして敷幅六尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡太保庄崙子頂に於て朴子支線に分岐し小排水路に入る。延長五百五十餘間にして敷幅五尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

附屬第三放水路 附屬第三放水路は東石郡朴子街小糠榔に於て朴子支線に分岐し中排水路に入る。延長三百五十餘間にして敷幅四尺兩側法一割五分勾配六百分ノ一を有す。

附屬第四放水路 附屬第四放水路は東石郡朴子街雙溪口に於て朴子支線に分岐し北して排水路雙溪口線に入る。延長三千三百三十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配二千四百分ノ一を有す。

新埤分線 新埤分線は東石郡太保庄後潭に於て朴子支線より分岐し同庄新埤に至る。延長一千八百餘間にして敷幅二尺乃至二尺五寸兩側法一割五分勾配一千八百分ノ一乃至一千五百分ノ一を有す。

太保分線 太保分線は東石郡太保庄太保に於て朴子支線より分岐し太保に終る。延長八百五十餘間にして敷幅二尺五寸兩側法一割五分勾配一千分ノ一を有す。

崙子頂第一分線 崙子頂分線は東石郡太保庄崙子頂に於て朴子支線に分岐し崙子頂第一分線を分岐して頂港子壩に至る。延長二千三百餘間にして敷幅一尺五寸乃至四尺兩側法一割乃至一割五分勾配二千四百分ノ一乃至一千二百分ノ一を有す。

崙子頂第二分線 崙子頂第二分線は東石郡太保庄崙子頂に於て崙子頂分線より分岐し頂港子堀に至る。延長二千三百餘間にして敷幅一尺五寸乃至一尺兩側法一割乃至一割五分勾配二千四百分ノ一乃至一千五百分ノ一を有す。

朴子分線 朴子分線は東石郡朴子街小樺榔に於て朴子支線より分岐し大樺榔に至る。延長二千四百三十餘間にして敷幅三尺乃至三尺五寸兩側法一割乃至一割五分勾配三千分ノ一乃至二千分ノ一を有す。

雙連潭分線 雙連潭分線は東石郡東石庄園子内に於て朴子支線より分岐して同庄港堀に至る。延長一千五百十餘間にして敷幅一尺五寸兩側法一割乃至一割五分勾配三千六百分ノ一を有す。

過溝支線

過溝支線は東石郡太保庄過溝に於て北幹線より分岐し魚寮分線を分岐し同庄溪南を経て六脚庄灣内に至る。延長三千三百八十餘間にして敷幅一尺五寸乃至三尺五寸兩側法一割五分勾配二千四百分ノ一乃至一千二百分ノ一を有す。過溝支線及之に分岐する魚寮分線總延長は三千八百九十餘間にして分水門、給水門、暗渠、さいほん、水路橋其の他附屬構造物二十箇所を算す。

魚寮分線 魚寮分線は東石郡太保庄過港に於て過港支線より分岐し同庄白鶴厝に至る。延長一千五百餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至三百分ノ一を有す。

蒜頭支線

蒜頭支線は嘉義郡新巷庄月眉潭に於て北幹線より分岐し月眉潭と同庄溪北の大字界に至りて大崙分線及附屬第一放水路を溪北、番婆を経て東石郡六脚庄雙涵に至りて三姓寮分線及附屬第二放水路を三姓寮を経て大塗師に至りて潭子堀分線を蒜頭を経て溪墘厝に至りて附屬第三放水路を分岐し下雙溪、更寮を経て林内に至りて排水路六脚線に入る。延長一萬一千三十餘間にして敷幅二尺乃至九尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至一千分ノ一を有す。蒜頭支線及び之に分岐する各分線總延長は一萬九千二百五十餘間にして分水門、給水門、餘水吐、落水工、暗渠、さいほん、水路橋、車道橋、歩道橋其の他附屬構造物九十箇所を算す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は嘉義郡新巷庄月眉潭に於て蒜頭支線に分岐し菜公厝に至りて排水路月眉線に入る。延長七百六十餘間にして敷幅三尺五寸兩側法一割五分勾配一千分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡六脚庄雙涵に於て蒜頭支線に分岐し港尾寮に至りて排水路六脚線に入る。延長八百四十餘間にして敷幅五尺乃至八尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一乃至一千分ノ一を有す。

附屬第三放水路 附屬第三放水路は東石郡六脚庄溪墘厝に於て蒜頭支線に分岐し潭子堀に至りて排水路中溝線に入る。延長四百餘間にして敷幅二尺兩側法一割勾配八百分ノ一を有す。

大崙分線 大崙分線は嘉義郡新巷庄月眉潭に於て蒜頭支線より分岐し同庄菜公厝に至りて大客分線を分岐し潭子堀を経て大崙に至る。延長三千六百七十餘間にして敷幅一尺乃至四尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至六百分ノ一を有す。

大客分線 大客分線は嘉義郡新巷庄菜公厝に於て大崙分線より分岐し大客に至る。延長一千四百八十餘間に於て敷幅二尺乃至三尺兩側法一割五分勾配二千分の一乃至一千分の一を有す。

三姓寮分線 三姓寮分線は東石郡六脚庄雙涵に於て蒜頭支線より分岐し同庄三姓寮を経て潭子壩に至り排水路後朴子脚線に入る。延長二千二百餘間に於て敷幅二尺乃至六尺兩側法一割乃至一割五分勾配一千八百分の一乃至一千分の一を有す。

潭子壩分線 潭子壩分線は東石郡六脚庄大塗師に於て蒜頭支線より分岐し同庄潭子壩に至りて排水路中溝線に入る。延長八百五十餘間に於て敷幅二尺乃至三尺五寸兩側法一割勾配一千分の一乃至八百分の一を有す。

菜公厝支線

菜公厝支線は嘉義郡新巷庄中洋子に於て北幹線より分岐し同庄菜公厝に至る。延長一千六百八十餘間に於て敷幅二尺兩側法一割五分勾配二千四百分の一乃至六百分の一を有し其の間給水門、落水工、暗渠、さいほん其の他附屬構造物八箇所を算す。

後底支線

後底支線は嘉義郡新巷庄後底湖に於て北幹線より分岐し後底湖に終る。延長二百三十餘間に於て敷幅三尺兩側法一割勾配四千八百分の一を有し附屬構造物三箇所及暗渠一箇所を有す。

新巷支線

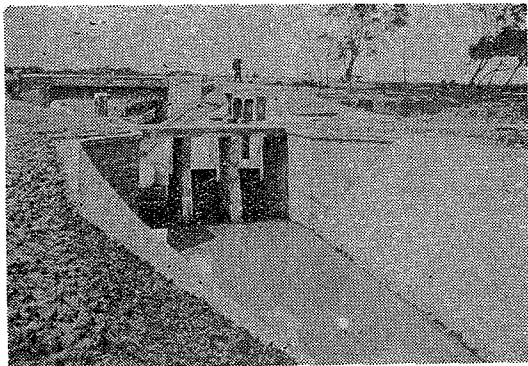
新巷支線は嘉義郡新巷庄大潭に於て北幹線より分岐し同大潭にて新巷分線を分岐し同庄古民及新巷を経て中庄に至る。延長二千六百九十餘間に於て敷幅二尺乃至三尺兩側法一割五分勾配二千四百分の一乃至八百分の一を有す。

新巷支線及び之に分岐する新巷分線總延長は三千八十餘間に於て分水門、給水門、落水工、暗渠其の他附屬構造物十三箇所を算す。

新巷分線 新巷分線は嘉義郡新巷庄大潭に於て新巷支線より分岐し同庄新巷に至る。延長三百八十餘間に於て敷幅三尺乃至四尺兩側法一割五分勾配二千分の一乃至一千分の一を有す。

東石支線

東石支線は嘉義郡新巷庄埤子頭に於て北幹線より分岐し同庄舊南港に至りて附屬第一放水路を東石郡六脚庄竹子脚に至りて附屬第二放水路を各分岐し同庄後崩山に至りて蚶子寮分線及附屬第三放水路を東石庄頂揖子寮を経て揖子寮に至りて副瀨分線及附屬第四放水路を分岐し海埔に至る。延長一萬三千九百二十餘間に於て敷幅二尺五寸乃至六尺兩側法一割



北幹綫附屬車道橋と新巷支綫分水門

五分勾配四千八百分の一乃至二千八百分の一を有す。東石支線及び之に分岐する各分線總延長は二萬百九十餘間に於て分水門、給水門、落水工、暗渠、さいほん、車道橋、歩道橋其の他附屬構造物百有三箇所を算す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は嘉義郡新巷庄舊南港に於て東石支線に分岐し南して排水路六脚線に入る、延長五百八十餘間にして敷幅五尺五寸兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡六脚庄竹子脚に於て東石支線に分岐し南して排水路六脚線に入る。延長八百二十餘間にして敷幅四尺兩側法一割五分勾配一千分ノ一を有す。

附屬第三放水路 附屬第三放水路は東石郡六脚庄後崩山に於て東石支線に分岐し南して排水路六脚線に入る。延長六百餘間にして敷幅五尺兩側法一割五分勾配九百分ノ一を有す。

附屬第四放水路 附屬第四放水路は東石郡東石庄下揖子寮に於て東石支線に分岐し南して排水路六脚線に入る。延長五百餘間にして敷幅五尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

附屬第五放水路 附屬第五放水路は東石郡東石庄海埔に於て東石支線訓末に接續して起り西して排水路温港線に入る。延長六百九十餘間にして敷幅三尺五寸兩側法一割五分を有す。

蚶子寮分線 蚶子寮分線は東石郡六脚庄後崩山に於て東石支線より分岐し東石庄溪子下及蚶子寮を経て鰲鼓に至り鰲鼓分線を分岐し鰲鼓に終る。延長三千九百三十餘間にして敷幅四尺乃至六尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至二千四百分ノ一を有す。

鰲鼓分線 鰲鼓分線は東石郡東石庄鰲鼓に於て蚶子寮分線に分岐し鰲鼓に終る。延長六百二十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一を有す。

副瀨分線 副瀨分線は東石郡東石庄下揖子寮に於て東石支線より分岐し同庄港墘厝を経て副瀨に至る。延長一千七百餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至三百分ノ一を有す。

崙子支線

崙子支線は嘉義郡新巷庄埤子頭に於て北幹線より分岐し同庄崙子に至る。延長四百九十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有し附屬構造物としては給水門一箇所を有する已。

B 排水路

二 鎮 線

二鎮線は會文郡官田庄二鎮に起り在來埤烏樹林埤に入る。延長四百間にして敷幅六尺兩側法一割五分勾配四百分ノ一を有す。

牛 塋 線

牛塋線は會文郡六甲庄六甲に起り在來埤洗布埤に入る。延長七百二十餘間にして敷幅十三尺兩側法一割五分勾配九百分ノ一を有す。

港 子 頭 線

港子頭線は會文郡六甲庄中社に起り同庄港子頭に至りて芝厝溪に入る。延長一千七百七十餘間にして敷幅一尺乃至一十四尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至一千分ノ一を有す。

太 康 線

附屬第一放水路 附屬第一放水路は嘉義郡新巷庄舊南港に於て東石支線に分岐し南して排水路六脚線に入る、延長五百八十八餘間にして敷幅五尺五寸兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は東石郡六脚庄竹子脚に於て東石支線に分岐し南して排水路六脚線に入る。延長八百二十餘間にして敷幅四尺兩側法一割五分勾配一千分ノ一を有す。

附屬第三放水路 附屬第三放水路は東石郡六脚庄後崩山に於て東石支線に分岐し南して排水路六脚線に入る。延長六百餘間にして敷幅五尺兩側法一割五分勾配九百分ノ一を有す。

附屬第四放水路 附屬第四放水路は東石郡東石庄下揖子寮に於て東石支線に分岐し南して排水路六脚線に入る。延長五百餘間にして敷幅五尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

附屬第五放水路 附屬第五放水路は東石郡東石庄海埔に於て東石支線末に接続して起り西して排水路温港線に入る。延長六百九十餘間にして敷幅三尺五寸兩側法一割五分を有す。

蚶子寮分線 蚶子寮分線は東石郡六脚庄後崩山に於て東石支線より分岐し東石庄溪子下及蚶子寮を経て鰲鼓に至り鰲鼓分線を分岐し鰲鼓に終る。延長三千九百三十餘間にして敷幅四尺乃至六尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至二千四百分ノ一を有す。

鰲鼓分線 鰲鼓分線は東石郡東石庄鰲鼓に於て蚶子寮分線に分岐し鰲鼓に終る。延長六百二十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一を有す。

副瀨分線 副瀨分線は東石郡東石庄下揖子寮に於て東石支線より分岐し同庄港墘厝を経て副瀨に至る。延長一千七百餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至三百分ノ一を有す。

崙子支線

崙子支線は嘉義郡新巷庄埤子頭に於て北幹線より分岐し同庄崙子に至る。延長四百九十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有し附屬構造物としては給水門一箇所を有する已。

B 排水路

二 鎮 線

二鎮線は會文郡官田庄二鎮に起り在來埤烏樹林埤に入る。延長四百間にして敷幅六尺兩側法一割五分勾配四百分ノ一を有す。

牛 歪 線

牛歪線は會文郡六甲庄六甲に起り在來埤洗布埤に入る。延長七百二十餘間にして敷幅十三尺兩側法一割五分勾配九百分ノ一を有す。

港 子 頭 線

港子頭線は會文郡六甲庄中社に起り同庄港子頭に至りて芝厝溪に入る。延長一千七百七十餘間にして敷幅一尺乃至二十四尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至一千分ノ一を有す。

太 康 線

太康線は新營郡柳營庄太康に起り同庄柳營を経て八老爺に至り八老爺線に合す。延長一千二十餘間にして敷幅五尺乃至十二尺兩側法一割五分勾配二千分の一乃至四百分の一を有す。

八老爺線

八老爺線は新營郡柳營庄八老爺に起り西して龜子港線に合す。延長百九十餘間にして敷幅十尺兩側法一割五分勾配五百分の一を有す。

龜子港線

龜子港線は新營郡柳營庄火燒店に起り同庄八老爺に至りて八老爺線を合し迂回して八掌溪に入る。延長二千五百十餘間にして敷幅十八尺乃至三十尺兩側法一割五分乃至三割勾配二千四百分の一を有す。

吉貝要線

吉貝要線は新營郡番社庄吉貝要に起り同庄田尾に至りて龜重溪に入る。延長二千二百八十餘間にして敷幅四尺乃至八尺兩側法一割五分乃至三割勾配六百分の一乃至四百分の一を有す。

許秀才線

許秀才線は新營郡番社庄番社に起り同庄許秀才吉貝要の大字界を經許秀才田尾の大字界に至りて急水溪に入る。延長一千七百餘間にして敷幅四尺乃至十尺兩側法一割五分勾配六百分の一乃至四百分の一を有す。

竹子脚線

竹子脚線は新營郡新營庄鐵線橋に起り同庄姑爺を經鹽水街南竹子脚に至りて田寮線に合す。延長一千九百四十餘間にして敷幅十尺乃至十四尺兩側法一割五分勾配一千五百分の一乃至一千二百分の一を有す。

田寮線

田寮線は新營郡新營庄太子宮に起り鹽水街舊營を經新營庄下角帶圍を過ぎ鹽水街南竹子脚番子厝の大字界に至りて竹子脚線及給水路太子宮分線附屬第一放水路を合し再び南竹子脚に入り迂回して天保厝に出で給水路太子宮分線附屬第二放水路を合し鹽水街田寮、北門郡學甲庄學甲寮を迂回し鹽水街飯店に至りて急水溪に入る。延長五千百餘間にして敷幅十一尺乃至五十五尺兩側法一割五分勾配六百分の一乃至一千分の一を有す。

鹽水南線

鹽水南線は新營郡新營庄後鎮同庄新營の大字界に起り後鎮及び茄冬脚後鎮の大字界を過ぎて鹽水線に合す。延長一千百十餘間にして敷幅八尺乃至二十尺兩側法一割五分勾配三千分の一乃至二千分の一を有す。

新營線

新營線は新營郡新營庄新營に起り同庄茄冬脚に至りて給水路新營支線附屬第二放水路を合し鹽水線に合す。延長一千八百八十餘間にして敷幅五尺乃至七尺兩側法一割五分勾配四百分の一乃至二百分の一を有す。

鹽水線

鹽水線は新營郡新營庄卯舍に起り同庄埤寮及許丑を經後鎮に至りて鹽水南線を合し茄冬脚に至りて新營線を鹽水

街舊營に至りて給水路新營第一分線附屬放水路を合し同庄番子厝に至りて岸内線に合す。延長五千九百九十餘間にし
て敷幅四尺乃至二十二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至四百分ノ一を有す。

岸内線

岸内線は新營郡鹽水街岸内ニ同街鹽水の大字界に起り下中ニ舊營の大字界を過ぎ孫厝寮ニ番子厝の大字界に至り
て鹽水線を合し孫厝寮ニ飯店の大字界及飯店ニ北門郡學甲庄溪洲子寮の大字界を經溪洲子寮ニ學甲寮の大字界に至
りて急水溪に入る。延長七千八十餘間にして敷幅四尺乃至三十八尺兩側法一割五分乃至三割勾配八千分ノ一乃至六
百分ノ一を有す。

孫厝寮線

孫厝寮線は新營郡鹽水街孫厝寮に起り西して八掌溪に入る。延長三百十餘間にして敷幅一尺五寸乃至一尺兩側法
一割五分勾配八百分ノ一乃至二百分ノ一を有す。

下茄荖線

下茄荖線は新營郡後壁庄下茄荖に起り下茄荖ニ烏樹林の大字界を經同庄安溪寮を迂回して再び下茄荖に入り出で
て安溪寮に至り新港東を經て竹園後ニ新營庄後鎮の大字界に至り後鎮線に合す。延長七千七百七十餘間にして敷幅四
尺乃至三十三尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至五百分ノ一を有す。

後鎮線

後鎮線は新營郡新營庄卯舎に起り同庄埤寮を經後壁庄新港東に至りて給水路新營支線附屬第一放水路を合し新營
庄許丑ニ後壁庄竹園後の大字界を經新營庄後鎮ニ後壁庄竹園後の大字界に至りて下茄荖線を合し鹽水街岸内に至り
て八掌溪に入る。延長四千七百四十餘間にして敷幅十二尺乃至二十八尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至五百分
ノ一を有す。

長短樹線

長短樹線は新營郡後壁庄長短樹に起り給水路長短樹分線附屬放水路を合し同庄竹園後ニ菁寮の大字界を經て白沙
屯に至り菁寮線に合す。延長三千四百餘間にして敷幅七尺乃至十四尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至一千分ノ
一を有す。

菁寮線

菁寮線は新營郡後壁庄上茄荖ニ下茄荖の大字界に起り同庄長短樹を經菁寮に至りて給水路菁寮支線附屬第一放水
路を合し白沙屯に至りて長短樹線を合し竹園後に至りて八掌溪に入る。延長八千七百二十餘間にして敷幅四尺乃至
六十五尺兩側法一割五分勾配六千分ノ一乃至八百分ノ一を有す。

上茄荖線

上茄荖線は在來の排水路を改修せるものにして新營郡後壁庄上茄荖に起り同庄崩埤に至りて崩埤線に合す。延長
一千二十餘間にして敷幅二尺乃至四尺兩側法一割勾配六百分ノ一乃至二百四十分ノ一を有す。

崩 埤 線

崩埤線も亦在來の排水路を改修せるものにして新營郡白河庄蓮潭に起り後壁庄崩埤に至りて上茄冬線を合し同庄菁寮に至りて八掌溪に入る。延長四千九十餘間にして敷幅五尺乃至二十五尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至六百分ノ一を有す。

過 路 子 線

過路子線は東石郡義竹庄新店に起り同庄過路子に至りて給水路八掌溪支線附屬第七放水路を合し芋子寮に至りて八掌溪支流無名溪に入る。延長二千四百二十餘間にして敷幅十尺乃至三十三尺兩側法一割乃至一割五分勾配三千分ノ一乃至二千分ノ一を有す。

新 店 線

新店線は東石郡義竹庄義竹に起り同庄埤子頭に至りて給水路八掌溪支線附屬第六放水路及給水路埤子頭分線附屬放水路を合し頭竹圍を経新店に至りて埤子頭線を合し北港子に至りて北港子線に接続す。延長三千二百二十餘間にして敷幅七尺乃至十三尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

埤 子 頭 線

埤子頭線は東石郡義竹庄埤子頭に起り同庄龍蛟潭及安溪寮を経て新店に至り新店線に合す。延長二千六百四十餘間にして敷幅九尺乃至二十一尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

北 港 子 線

北港子線は東石郡義竹庄北港子に於て新店線に接続して起り西して支那海に入る。延長三百六十餘間にして敷幅十二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

南 靖 線

南靖線は嘉義郡水上庄十一指厝に起り給水路八掌溪支線附屬第一放水路を合し同庄頂半天を経東石郡鹿草庄麻豆店に至りて給水路南靖分線附屬放水路を合し後堀に至りて八掌溪に入る。延長三千四十餘間にして敷幅十八尺乃至三十尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至一千四百分ノ一を有す。

鹿 草 線

鹿草線は東石郡鹿草庄三角子に起り同庄中寮に至りて給水路八掌溪支線附屬第三放水路を合し施厝寮に至りて同じく八掌溪支線附屬第四放水路を合し頂潭に至りて八掌溪に入る。延長一千五百十餘間にして敷幅八尺乃至二十七尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

新 庄 線

新庄線は東石郡義竹庄東後寮に起り給水路崩山分線附屬第一放水路を合し同庄新庄、龍蛟潭、布袋庄菜舖廊を経、崩山に至りて溪墘線に合す。延長三千百七十餘間にして敷幅七尺乃至三十尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至九百分ノ一を有す。

溪 墪 線

溪墪線は東石郡布袋庄葉鋪廊に起り給水路粟子崙分線附屬第一放水路を合し同庄崩山に至りて新庄線を含し義竹庄後鎮を経て北港子に至り給水路後鎮分線附屬第二放水路を合して無名溪に入る。延長二千五百六十餘間にして敷幅十五尺乃至五十二尺兩側法一割五分勾配三千三百分の一乃至三千分の一を有す。

前 東 港 線

前東港線は東石郡布袋庄崩山に起り給水路崩山分線附屬第二放水路を合し同庄前東港を経て義竹庄北港子に至り無名溪に入る。延長二千五百十餘間にして敷幅七尺乃至二十尺兩側法一割五分勾配四千分の一を有す。

内 田 線

内田線は東石郡布袋庄内田に起り西して支那海に入る。延長九百二十餘間にして敷幅九尺乃至二十尺兩側法一割五分勾配三千分の一乃至一千五百分の一を有す。

考 試 潭 線

考試潭線は東石郡布袋庄過溝に起り同庄考試潭に至りて支那海に入る。延長一千四百餘間にして敷幅十六尺乃至三十八尺兩側法一割五分勾配三千分の一を有す。

過 港 線

過港線は東石郡布袋庄過溝に起り給水路粟子崙分線附屬第三放水路を合して東石庄掌潭に至り支那海に入る。延

長一千三百四十餘間にして敷幅八尺乃至十四尺兩側法一割五分勾配三千分の一乃至一千五百分の一を有す。

粟 子 崙 線

粟子崙線は東石郡東石庄粟子崙に起り同庄掌潭を迂回し埴子に出て支那海に入る。延長一千三百十餘間にして敷幅二十尺乃至二十七尺兩側法一割五分勾配三千分の一を有す。

四 房 線

四房線は在來の排水路を改修せるものにして東石郡鹿草庄竹子脚に起り西して鴨母寮線に合す。延長五百餘間にして敷幅七尺兩側法一割五分勾配三千分の一を有す。

龜 佛 山 線

龜佛山線は東石郡鹿草庄龜佛山に起り西して貴舍線に合す。延長五百餘間にして敷幅十四尺兩側法一割五分勾配二千分の一を有す。

貴 舍 線

貴舍線は東石郡鹿草庄龜佛山に起り龜佛山線を合し義竹庄牛挑灣、南勢竹、布袋庄樹林頭、貴舍を経て朴子街龜子港に至り鴨母寮線に合す。延長五千三百十餘間にして敷幅十尺乃至二十尺兩側法一割五分勾配一千八百分の一乃至一千二百分の一を有す。

中 洲 線

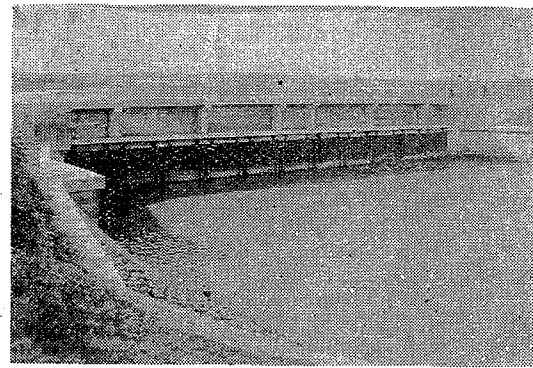
中洲線は東石郡布袋庄走賊宅に起り同庄貴舎を経て中洲に入り迂回して再び貴舎に出で朴子街塚後に至りて鴨母寮線に合す。延長二千餘間にして敷幅五尺乃至十三尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至八百分ノ一を有す。

鴨母寮線

鴨母寮線は東石郡鹿草庄山子脚に起り同庄鹿草を経竹子脚に至りて四房線を海豊、朴子街新庄、義竹庄牛挑灣、朴子街吳竹子脚、鴨母寮を経龜子港に至りて貴舎線を塚後に至りて中洲線を合し北して荷苞嶼線に合す。延長一萬五千餘間にして敷幅十四尺乃至八十二尺兩側法一割五分乃至一割勾配六千分ノ一乃至一千二百分ノ一を有す。

春珠線

春珠線は在來の排水路を改修せるものにして東石郡太保庄後潭に起り給水路朴子支線附屬第一放水路を合し鹿草庄梅子厝、太保庄茄冬脚土名春珠、崙仔頂を経て頂港子墘に至り荷苞嶼線に合す。延長三千三十餘間にして敷幅六尺乃至十六尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至二千分ノ一を有す。



鴨母寮線附屬自働排水門

茄冬脚線

茄冬脚線も亦在來の排水路を改修せるものにして東石郡太保庄茄冬脚に起り西して下半天線に合す。延長五百二十餘間にして敷幅四尺兩側法一割五分勾配六百分ノ一を有す。

下半天線

下半天線亦在來の排水路を改修せるものにして東石郡鹿草庄梅子厝に起り太保庄茄冬脚に至りて茄冬脚線を合し鹿草庄後寮に至りて荷苞嶼線に合す。延長一千六百七十餘間にして敷幅九尺兩側法一割五分勾配五百分ノ一乃至四百分ノ一を有す。

後寮線

後寮線は東石郡鹿草庄後寮に起り西して荷苞嶼線に合す。延長一千二百八十餘間にして敷幅五尺乃至六尺五寸兩側法一割五分勾配一千五百分の一乃至六百分の一を有す。

大糠榔線

大糠榔線は在來の排水路を改修せるものにして東石郡朴子街大糠榔に起り西して荷苞嶼線に合す。延長一千三百三十餘間にして敷幅八尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

大館線

大館線は東石郡朴子街新庄に起り同庄下竹圍に至りて荷苞嶼線に合す。延長九百餘間にして敷幅五尺乃至二十尺兩側法一割五分勾配二千四百分ノ一乃至六百分ノ一を有す。

雙溪口線

雙溪口線は東石郡朴子街雙溪口に起り給水路朴子支線附屬第四放水路を合し同庄朴子及下竹園を経て新寮に至り荷苞嶼線に合す。延長二千五百六十餘間にして敷幅四尺乃至二十五尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至一千二分ノ一を有す。

港墘線

港墘線は東石郡東石庄園子内に起り同庄港墘に至りて荷苞嶼線に合す。延長二千二百二十餘間にして敷幅十八尺乃至二十二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至一千五百分ノ一を有す。

荷苞嶼線

荷苞嶼線は東石郡太保庄頂港子墘に起り土名三塊厝にて春珠線を合し鹿草庄後寮に至りて後寮線及下半年線を合し再び太保庄頂港子墘に出で朴子街大棟椰に至りて大棟椰線を下竹園に至りて大館線を新寮に至りて雙溪口線を坂前を経坂後に至りて鴨母寮線及給水路坂前分線附屬第三放水路を東石庄港墘に至りて港墘線を合し洲子に至りて朴子溪に入る。延長九千九百十餘間にして敷幅十一尺乃至八十八尺兩側法一割勾配八千分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

黃厝港線

黃厝港線は東石郡太保庄管事厝に起り同庄黃厝港を経て白鶴厝に至り新埤線に合す。延長一千百餘間にして敷幅十三尺兩側法一割勾配三千分ノ一を有す。

魚寮線

魚寮線は東石郡太保庄白鶴厝土名魚寮に起り西して新埤線に合す。延長九百九十餘間にして敷幅八尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一を有す。

後溝尾線

後溝尾線は東石郡太保庄太保に起り同庄後溝尾に至りて新埤線に合す。延長二千五十餘間にして敷幅七尺乃至十尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一乃至四百分ノ一を有す。

新埤線

新埤線は東石郡太保庄太保に起り同庄後溝尾に至りて後溝尾線を合し白鶴厝に至りて黃厝港線を土名魚寮に至りて魚寮線を合し新埤及田尾を経て東勢寮に至り朴子溪に入る。延長七千二百餘間にして敷幅七尺乃至五十二尺兩側法一割五分乃至一割勾配六千分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

幹線外太保排水

幹線外太保排水は東石郡太保庄管事厝に於て在來排水に起り給水路北幹線に沿ひ北して同庄白鶴厝を經水虞厝に至りて朴子溪に入る。延長二千四百四十餘間にして敷幅四尺乃至二十四尺兩側法四割(敷より五尺上り迄四割上部二割)勾配三千六百分ノ一乃至三千百分ノ一を有す。

幹線外民雄排水

幹線外民雄排水は嘉義郡民雄庄子脚に於て在來排水に起り新巷庄中洋子を経て同庄月眉潭に至り朴子溪に注ぐ。延長一千六百七十餘間にして敷幅三十尺兩側法四割(敷より五尺上の迄四割上部二割)勾配三千分の一を有す。

幹線外竹子脚排水

幹線外竹子脚排水は嘉義郡民雄庄子脚に起り在來排水に注ぐ。延長五百二十餘間にして敷幅九尺乃至十八尺兩側法一割五分勾配四十分の一乃至一千五百分の一を有す。

温港線

温港線は東石郡東石庄三塊厝に起り給水路東石支線圳末附屬第五放水路を合し同庄頂東石に至りて海に注ぐ。延長一千七百餘間にして敷幅十尺乃至二十八尺兩側法一割五分勾配四十分の一を有す。

月眉線

月眉線は嘉義郡新巷庄菜公厝に起り給水路蒜頭支線附屬第一放水路を合し同庄月眉潭及び大客を經大崙に至りて大客線を合し東石郡六脚庄港尾寮に至りて六脚線に合す。延長五千九百六十餘間にして敷幅十尺乃至三十尺兩側法一割乃至一割五分勾配一千八百分の一乃至一千分の一を有す。

大客線

大客線は嘉義郡新巷庄大客に起り同庄大崙に至りて月眉線に合す。延長一千六十餘間にして敷幅八尺乃至十五尺勾配六百分の一を有す。

後朴子脚線

後朴子脚線は東石郡六脚庄潭子塹に起り給水路三姓寮分線圳末を合し同庄後朴子に至りて六脚線に合す。延長一千三百三十餘間にして敷幅四尺乃至十一尺兩側法一割勾配一千分の一を有す。

中溝線

中溝線は東石郡六脚庄蒜頭に起り同庄大塗師を經潭子塹に至りて給水路潭子塹分線圳末及蒜頭支線附屬第三放水路を合し六脚に至りて六脚線に合す。延長一千二百餘間にして敷幅二尺乃至二十二尺兩側法一割勾配一千五百分の一乃至七百五十分の一を有す。

六脚線

六脚線は嘉義郡新巷庄菜公厝に起り同庄新巷及潭子塹を經舊南港に至りて給水路東石支線附屬第一放水路を合し東石郡六脚庄港尾寮に至りて月眉線及給水路蒜頭支線附屬第二放水路を後朴子脚に至りて後朴子脚線及給水路東石支線附屬第二放水路を六脚に至りて中溝線を林内に至りて給水路蒜頭支線圳末及給水路東石支線附屬第三放水路を東石庄下埤寮に至りて給水路東石支線附屬第四放水路を合し鰲鼓副瀨の大字界に至りて海に注ぐ。延長一萬五千三百七十餘間にして敷幅二十八尺乃至百二十九尺兩側法一割五分乃至一割勾配五千四十分の一乃至二千四百分の一を有す。

鰲鼓線

鰲鼓線は東石郡東石庄鰲鼓に起り鰲鼓に終る。延長一千六百六十餘間にして敷幅十二尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一を有す。

崙子線

崙子線は在來排水路を其の儘利用せるものにして延長一千四百七十餘間を有し嘉義郡新巷庄崙子に起り同庄中庄に至りて埤子頭線に合す。

埤子頭線

埤子頭線も亦在來排水路を其の儘利用せるものにして延長三千餘間を有し嘉義郡新巷庄埤子頭に起り同中庄に至りて崙子線を合し北港溪に入る。

幹線外大潭排水

幹線外大潭排水は嘉義郡新巷庄大潭に起り同庄西庄に至りて在來排水に注ぐ。延長八百十餘間にして敷幅七尺乃至二十尺兩側法一割五分乃至一割勾配八百分ノ一乃至六百分ノ一を有す。

幹線外崙子排水

幹線外崙子排水は嘉義郡西港庄崙子に起り崙子に終る。延長百九十餘間にして敷幅二尺兩側法一割乃至一割五分勾配一千分ノ一を有す。

C 潮止堤防

新店潮止

新店潮止は東石郡義竹庄新店に起り海濱に沿ひ南して同庄芋寮に至る。頂部延長二千五百六十餘間にして天幅六尺兩側法一割五分を有し其の間附屬自動排水門二箇所を有す。

附屬第一自動排水門

新店潮止附屬第一自動排水門は内法五尺、深五尺、三連より成り鐵筋混凝土造自動

式也。

附屬第二自動排水門

新店潮止附屬第二自動排水門は内法五尺、深五尺、二連より成り鐵筋混凝土造自動

式也。

前東港潮止

前東港潮止は東石郡布袋庄内田に起り海濱に沿ひ同庄前東港を経て義竹庄北港に至る。頂部延長三千五百六十餘間にして天幅六尺乃至十二尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一を有し其の間附屬自動排水門三箇所を有す。

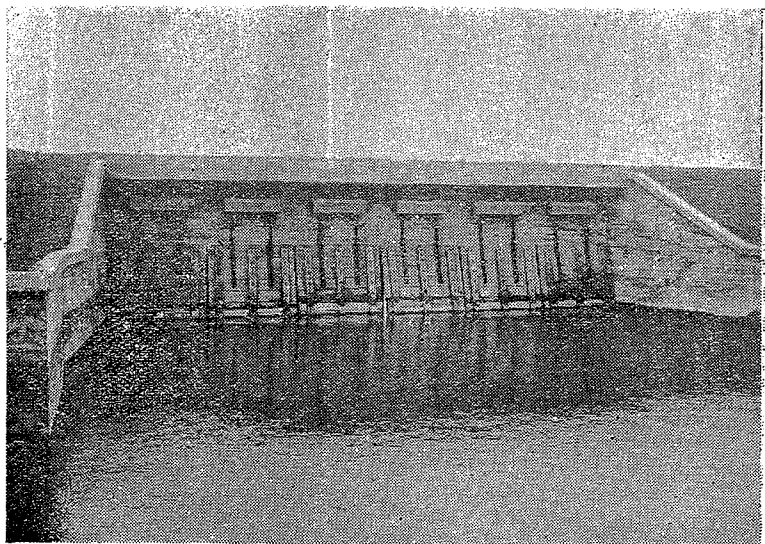
附屬第一自動排水門

前東港潮止附屬第一自動排水門は内法五尺、深五尺一門にして鐵筋混凝土造自動式

也。

附屬第二自動排水門

前東港潮止附屬第二自動排水門は内法五尺、深五尺、四連より成り鐵筋混凝土造自



塩子潮止堤防附屬第二自働排水門

働式です。

附屬第三自働排水門 前東港潮止附屬第三自働排水門は内法五尺、深五尺、二連より成り鐵筋混凝土造自働式です。

塩子潮止

塩子潮止は東石郡東石庄鹽連潭に起り海濱に沿ひ同庄洲子、後埔、塩子、布袋庄掌潭及過港を経て内田に至る。頂部延長五千十餘間にして天幅六尺乃至九尺兩側法一割五分乃至一割勾配三分ノ一を有し其の間附屬自働排水門三箇所を有す。

附屬第一自働排水門 塩子潮止附屬第一自働排水門は内法六尺、深五尺、三連より成り鐵筋混凝土造自働式です。

附屬第二自働排水門 塩子潮止附屬第二自働排水門は内法五尺、深六尺、六連より成り鐵筋混凝土造

自働式です。

附屬第三自働排水門 塩子潮止附屬第三自働排水門は内法五尺、深三尺、三連より成り鐵筋混凝土造自働式です。

東石潮止

東石潮止は東石郡東石庄副瀬に起り海濱に沿ひ同庄山寮、型厩寮、塩港及頂東石を迂回して屯子頭に至る。頂部延長五千十餘間にして天幅九尺兩側法一割乃至五割を有し其の間附屬自働排水門三箇所を有す。

附屬第一自働排水門 東石潮止附屬第一自働排水門は内法六尺、深五尺、六連より成り鐵筋混凝土造自働式です。

附屬第二自働排水門 東石潮止附屬第二自働排水門は内法三尺深三尺一門にして鐵筋混凝土造自働式です。
附屬第三自働排水門 東石潮止附屬第三自働排水門は内法六尺、深五尺、三連より成り鐵筋混凝土造自働式です。

鰲鼓潮止

鰲鼓潮止は東石郡東石庄鰲鼓にて北港溪末流沿岸に起り海濱を迂回す。頂部延長二千五百餘間にして天幅九尺兩側法二割乃至五割を有し其の間附屬自働排水門一箇所を有す。

附屬自働排水門 鰲鼓潮止附屬自働排水門は内法六尺、深五尺、四連より成り鐵筋混凝土造自働式です。